



TNM & TOPPAN ミュージアムシアター上演作品のご案内 金碧障壁画を巡る VR ツアー VR 作品『安土城から檜図、そして二条城へ』上演

東京国立博物館 東洋館地下 1 階「TNM & TOPPAN ミュージアムシアター」では、2016 年 9 月 28 日（水）から 12 月 23 日（金・祝）まで、同館が所蔵する国宝「檜図屏風（ひのきずびょうぶ）」をふくむ金碧障壁画（きんぺきしょうへきが）を巡る VR 作品『安土城から檜図、そして二条城へ』を上演します。

今回の上演では、戦乱の世から全国統一するまでの時代の流れや歴史を、その時代を象徴する金碧障壁画にまつわる 3 つの見どころを手がかりに紐解きます。最初は、織田信長が狩野永徳に描かせ、はじめて城郭へ本格的に取入れられた金碧障壁画で、本能寺の変後に焼失し現存していない「安土城天主」。次に、豊臣秀吉が狩野永徳に描かせ、襖絵として製作された国宝「檜図屏風」。最後に、徳川家光が改修した「二条城」の四の間に狩野派が描いた金碧障壁画で囲まれた空間。VR 技術によって再現された金碧障壁画をツアーに仕立て鑑賞します。

専属ナビゲーターが案内役となり、VR でよみがえった狩野派の障壁画を鑑賞しながら、あたかもその時代、その場所を訪れたかのような歴史体験を提供します。



VR 技術で再現された「安土城」「檜図屏風」「二条城障壁画」

（左）「安土城」 製作・監修：近江八幡市 天主復元案：内藤昌 障壁画復元：平井良直 制作：凸版印刷株式会社

（中）「檜図屏風」 監修：東京国立博物館 制作：凸版印刷株式会社

（右）「二条城障壁画」 監修・データ提供：元離宮二条城事務所 製作・著作：凸版印刷株式会社

VR 作品『安土城から檜図、そして二条城へ』上演について

場所： 東京国立博物館 東洋館地下 1 階 TNM & TOPPAN ミュージアムシアター

期間： 2016 年 9 月 28 日（水）～ 12 月 23 日（金・祝）

時間： 水・木・金 12：00、13：00、14：00、15：00、16：00

土・日・祝・休日 11：00、12：00、13：00、14：00、15：00、16：00

※所要時間は約 40 分、各回定員 90 名です。

料金： 高校生以上 500 円、中学生・小学生 300 円、未就学児、障がい者および介護者 1 名無料

※総合文化展当日券（一般 620 円 / 大学生 410 円）とセット購入で一般 1000 円 / 大学生 800 円

※開演時間までにチケットをお買い求めください（当日券のみ）。

シアターウェブサイト： <http://www.toppan-vr.jp/mt/>

■ 報道に関するお問い合わせ先

東京国立博物館 広報室 TEL：03-3822-1302 FAX：03-3822-2081

凸版印刷株式会社 文化事業推進本部 パブリシティ担当 TEL：03-5840-4899 FAX：03-5840-1910